

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月13日
東

上場会社名 株式会社和心 上場取引所
コード番号 9271 URL <https://www.wagokoro.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 森 智宏
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 斎藤 順一 (TEL) 03-5678-0556
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	2,023	27.5	449	41.4	453	50.3	466	47.2
2024年12月期第3四半期	1,587	61.3	317	524.3	302	—	317	—
(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 466百万円(46.4%) 2024年12月期第3四半期 318百万円(—%)								
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2025年12月期第3四半期	72	68	61	09				
2024年12月期第3四半期	50	03	42	93				

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	1,649	1,027	60.6
2024年12月期	1,275	568	40.8
(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 999百万円 2024年12月期 519百万円			

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
	銭		銭		銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2025年12月期の配当につきましては未定としております。

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円
通期	2,800	33.7	520	25.0	510	31.1	500	28.5
								銭
								77.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社 (社名) 、除外 1 社 (社名) 株式会社WALA

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	6, 511, 724株	2024年12月期	6, 412, 500株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	—株	2024年12月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	6, 419, 406株	2024年12月期 3 Q	6, 336, 989株

発行済株式数に関する注記

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな持ち直しが見られました。しかし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクになっており、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する小売・サービス業界は、アフターコロナにおいて消費者の購買行動が順調に回復する中でも、食材価格や労働力不足による人件費上昇など、収益性の改善については厳しい状況は依然として続いております。また、2025年1月～9月の訪日外客数は約3,165万人となり、過去最速で3,000万人を突破し(出典：日本政府観光局(JNTO))、インバウンド需要は順調に推移しております。

このような経済環境の下、当社は「日本のカルチャーを世界へ」を経営理念に「日本文化を感じるモノを作り販売する」モノ事業及びその他事業の強化に引き続き取り組みました。個人消費や国内観光の回復や訪日外客数が増加していることから来店客数も増加しております。

当第3四半期連結累計期間においては、来店客数が前年同期比23.6%と増加したため増収となりました。出来店につきましては、当第3四半期連結累計期間においては、出店は8店舗あり、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は合計35店舗(前連結会計連結年度末比8店舗増)となりました。一方で、店舗関連費用の削減に取り組み、販売費及び一般管理費は981,213千円(前年同期比30.0%増)となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,023,580千円(前年同期比27.5%増)、営業利益は449,324千円(前年同期比41.4%増)、経常利益は453,926千円(前年同期比50.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は466,563千円(前年同期比47.2%増)となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(インバウンドMD事業)

インバウンドMD事業においては、観光客の増加により増収となりました。出店につきましては〔かんざし屋wargo〕を3店舗と、〔北斎グラフィック〕を3店舗、〔箸や万作〕2店舗出店しました。当第3四半期連結会計期間末における店舗数は、〔かんざし屋wargo〕13店舗(前連結会計年度末比5店舗増加)、〔The Ichi〕1店舗(同2店舗減)、〔北斎グラフィック〕14店舗(同3店舗増)、〔箸や万作〕4店舗(同2店舗増)、〔1円着物wargo〕2店舗(同±0)、〔MUSUMUSU〕1店舗(同±0)、合計35店舗(同8店舗増)となりました。その他、ネット通販、OEMサービス等も行っております。

その結果、インバウンドMD事業の売上高は1,879,110千円(前年同期比25.5%増)、セグメント利益は593,402千円(前年同期比23.9%増)となりました。

(その他事業)

その他事業においては、静岡県を中心に空き家をリノベーションした不動産賃貸業及び宿泊施設を運営しております。

その結果、その他事業の売上高は146,539千円(前年同期比59.6%増)、セグメント利益は21,459千円(前年同期比27.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて154,816千円増加し995,867千円となりました。これは主に現金及び預金が増加し、短期貸付金が減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて218,862千円増加し653,276千円となりました。これは主に有形固定資産が増加し、投資その他の資産が増加したことなどによります。

その結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて373,678千円増加し1,649,143千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて157,693千円減少し453,907千円となりました。これは主に短期借入金が減少し、1年内返済予定の長期借入金が減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて72,493千円増加し168,003千円となりました。これは主に長期借入金が減少したことなどによります。

その結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて85,200千円減少し621,910千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて458,878千円増加し1,027,233千円となりました。これは利益剰余金が増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年8月13日の「2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

なお、国内外の経営環境の動向などを注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には適時に公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	190,414	572,419
売掛金	95,103	93,942
商品	208,586	204,921
前渡金	105,491	43,278
短期貸付金	128,558	—
その他	112,896	81,306
流動資産合計	841,050	995,867
固定資産		
有形固定資産		
建物	85,089	184,574
土地	61,228	98,028
建設仮勘定	20,253	13,342
その他	11,463	33,096
有形固定資産合計	178,034	329,040
無形固定資産		
ソフトウェア	562	3,461
のれん	21,918	—
その他	64	64
無形固定資産合計	22,544	3,525
投資その他の資産		
関係会社株式	75,115	103,810
敷金	127,402	162,293
その他	31,316	54,606
投資その他の資産合計	233,834	320,710
固定資産合計	434,414	653,276
資産合計	1,275,465	1,649,143
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,330	49,485
短期借入金	73,741	212,817
1年内返済予定の長期借入金	281,728	23,004
未払金	116,727	103,539
未払法人税等	15,290	3,490
未払消費税等	9,504	9,143
前受金	21,837	23,792
預り金	16,039	14,004
賞与引当金	4,853	5,263
その他	22,546	9,364
流動負債合計	611,600	453,907
固定負債		
長期借入金	77,938	158,758
訴訟損失引当金	3,171	—
その他	14,400	9,244
固定負債合計	95,509	168,003
負債合計	707,110	621,910

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	954,395	967,465
利益剰余金	△484,594	△18,030
株主資本合計	519,801	999,434
新株予約権	27,618	27,798
非支配株主持分	20,934	—
純資産合計	568,354	1,027,233
負債純資産合計	1,275,465	1,649,143

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,587,491	2,023,580
売上原価	514,782	593,042
売上総利益	1,072,709	1,430,538
販売費及び一般管理費	754,978	981,213
営業利益	317,731	449,324
営業外収益		
受取利息	20	3,938
為替差益	6,530	—
受取手数料	4,438	—
持分法による投資利益	—	12,264
その他	2,937	1,235
営業外収益合計	13,926	17,437
営業外費用		
支払利息	4,871	6,542
株式交付費	255	1,000
為替差損	—	384
持分法による投資損失	22,592	—
雑損失	—	4,908
その他	1,912	—
営業外費用合計	29,631	12,835
経常利益	302,026	453,926
特別利益		
固定資産売却益	5,412	190
持分変動利益	27,785	16,430
関係会社株式売却益	—	2,061
訴訟損失引当金戻入額	—	268
特別利益合計	33,198	18,950
特別損失		
固定資産除却損	1,132	—
特別損失合計	1,132	—
税金等調整前四半期純利益	334,092	472,877
法人税、住民税及び事業税	15,367	6,313
法人税等合計	15,367	6,313
四半期純利益	318,725	466,563
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	317,033	466,563
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,692	—
四半期包括利益	318,725	466,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,033	466,563
非支配株主に係る四半期包括利益	1,692	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	インバウンド MD事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,497,745	89,746	1,587,491	—	1,587,491
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,400	2,070	10,470	△10,470	—
計	1,506,145	91,816	1,597,961	△10,470	1,587,491
セグメント利益又は損失(△)	479,050	16,900	495,951	△178,219	317,731

(注) 1. 調整額△178,219千円は、本社管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	インバウンド MD事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,879,110	144,469	2,023,580	—	2,023,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,070	2,070	△2,070	—
計	1,879,110	146,539	2,025,650	△2,070	2,023,580
セグメント利益又は損失(△)	593,402	21,459	614,862	△165,537	449,324

(注) 1. 調整額△165,537千円は、本社管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	11,749千円	6,881千円

(企業結合等関係)

(株式交換による完全子会社化)

当社は2025年8月13日付の取締役会決議により、当社を株式交換完全親会社、当社の連結子会社であるマイグレ株式会社（以下「マイグレ」という。）を株式交換完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」という。）を行うことを決議し、同日、両社間で株式交換契約（以下、「本株式交換契約」という。）を締結いたしました。

本株式交換は、2025年9月12日に実行され、マイグレは当社の完全子会社となりました。

1. 取引の概要

(1) 被結合企業の名称及び当該事業の内容

被結合企業の名称 マイグレ
事業の内容 サウナ付き貸別荘を運営する「サウナ&バケーションレンタル事業」

(2) 企業結合日

2025年9月12日

(3) 企業結合の法的形式

当社を株式交換完全親会社、被結合企業を株式交換完全子会社とする株式交換

(4) 結合後企業の名称

変更はありません。

(5) その他取引の概要

グループシナジーを活用した新規施設の展開や、集積基盤の強化が見込み、企業グループとしての企業価値向上を目的として、本株式交換による完全子会社化したものであります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として会計処理しております。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

(1) 取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 普通株式 87,118千円
取得原価 87,118千円

(2) 株式交換に係る割当の内容

	当社 (株式交換完全親会社)	マイグレ株式会社 (株式交換完全子会社)
本株式交換に係る割当比率	1	628
本株式交換により交付する株式数	当社株式：99,224株	

(注) 当社が交付する株式は、新たに発行する株式にて充当

(3) 株式交換に係る割当の内容

当社及びマイグレは、それぞれ別個に、両社から独立した第三者算定機関に株式交換比率の算定結果を参考し当事者間での協議の上、算定しております。